平成 29年度(28年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総	まちづくりの目標			心豊かで未来を築く人を育むまち	評	局名	教育局
合計	政	策		基本的人権を尊重する社会の確立	価担	課室名	人権教育課
計		施	策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
 		ſ	基本事業	人権教育の推進	事業	実施主体	市
糸			事務事業	子ども教育推進事業	事業	期間	平成 28年度~平成 35年度

【事業全体概要】

地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボラン ティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。

事業の概要

地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象に進路・進学等相談、大学生のボラン 29年度 ティアによる学習支援の実施を行い、その経費を支出し、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。

概要

重点取組事業 市長マニフェスト 事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)

地区小・中学生

意図 (どのような 状態にしたいか) 地区小・中学生及び保護者が、子ども学級・教育相談・学習支援ボランティアに出席する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
子ども学級実施回数	回			578	622	622
教育相談実施回数	回			23	37	37

【事業の成果】

	成果指標名(どのような成果が得られた	か)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
			人	目標値			4,987	4,98	***************************************
		, ,	実績値			3,271			
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成	6000						\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
指	目標値には、届いていないが、成果として決 して数値が高いことが、良いこととは言えな	(目標達成度)	5000- 4000-			<u> </u>			(達成度)
行示	いものである。		3000-			•			65.6%
			2000- 1000-						00 =
			d-	1	ı	1 1	1 1		22点
			H2	4 H25	H26	H27 H28	H29 H30) H31 L	
	成果指標名(どのような成果が得られた	か)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	教育相談出席者数		人	目標値			343	34	3 343
 -+:				実績値			195		
型	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成	400-							
成果指標	目標値には、届いていないが、成果として決「 して数値が高いことが、良いこととは言えな「	(目標達成度)	300-		▲				(達成度)
標	して数値が高いことが、良いこととは言えな	_1	200-			_			56.9%
			100-						
			100	i	1	1 1	1 1		19点
		•	H2	4 H25	H26	H27 H28	H29 H30) H31 L	

【コストの推移】

_	FIXT OTHER							
	指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)		
I	トータルコスト	[千円]	10,295	9,996	10,631	10,718		
1	(事業費)	[千円]	6,604	6,157	6,705	6,792		
1	(職員人件費)	仟円1	3,691	3,839	3,926	3,926		

【評価】

評価ランク	C	今後の方向性	継続
(A ~ D)	C	(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	郑

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

目標値には、届いていないが、成果として決して数値が高いことが、良いこととは言えないものである。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地区の小・中学生の補充学習の場として、一定の成果が上がってはいるが、小・中学生の減少等に伴い、目標値としては、下回っている。また保護者を対象とした進路・進学相談についても目標値としては下回っているのが現状である。 今後は、子ども達やその保護者のニーズを知る必要がある。そして一人一人を大切に対応する事業としていきたい。